

新政治運動

なぜ新政治運動が必要か？

新政治運動リーダー

首藤信彦 (すとうのぶひこ)

前進する永久運動・行動する無数



現在の日本政治の惨状

- アベノミクス破たん
- 外交凋落＝アメリカ属国化
+アジアでの信用失墜
- 憲法無視の安保法制
- 貧困拡大+格差社会

日本民主政治惨状の背景

大状況の変化

アメリカの退潮・縮小

中国の膨張

植民地後の世界再編成期

民主主義と西欧文明の限界

機能しない民主主義

テロ・移民

日本：旧日本モデルの限界

丁巳年
秋
月
日
書

誰が？

**アベの登場を
許したか！**

政治勢力と政治空白 そして可能性

新政治運動

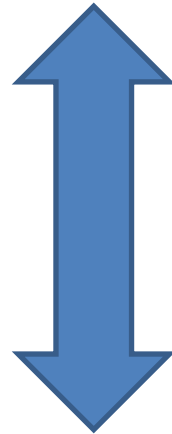
リーダー 首藤信彦

保守勢力だけになった政治地図

- 2012年末選挙による民主党敗退そしてリベラル勢力消失以降、日本政治はすべて保守政治となり、たとえ一時的な犠牲を払っても日本を構造的に立て直そうとする未来指向の政治勢力は消滅
- 逆に安倍政権登場により、日本をアメリカと一体化して戦争に参加する時代錯誤勢力の台頭
- アベノミクスによる格差拡大と国富の消失
- 1990年代中ごろからの市民政治・ローカルパーティなどの勢力は大幅後退
- 政党交付金、無所属・新候補への極端な差別、障害
- 新しい政治を生み出すエネルギー喪失

政治勢力の縦軸ベクトル

急進・革新：社会の構造改革を目指す
未来志向・将来投資・摩擦や犠牲覚悟



保守： 現行・既存社会システム堅持
過去尊重・現実指向・現在利権維持

政治勢力の横軸ベクトル

左派のパッケージ

社会・個人・家庭重視
分配・福祉・弱者重視
教育・年金・医療
消費者・生活者重視
脱成長・社会成熟
中小・新企業重視
雇用・就業機会重視
再生可能エネルギー
アジア回帰
世界・国連重視
環境・地域・生活重視
新価値観・働き方



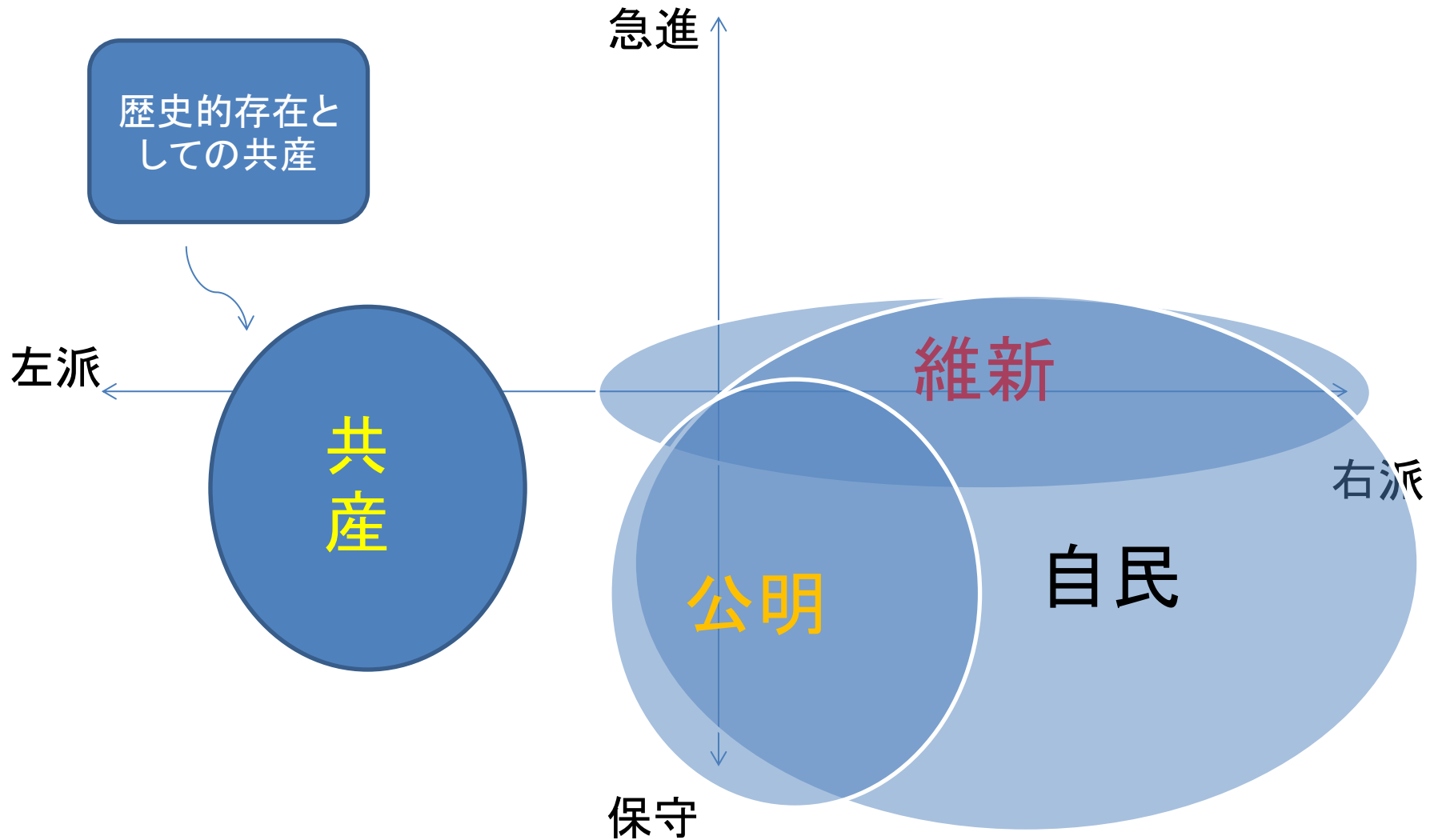
右派のパッケージ

国家・集権中心主義
産業・生産重視
経済成長優先
規制緩和・自由化
大企業中心主義
原子力推進
アメリカ追従
軍事重視・核神話
中韓摩擦
既成勢力の地域支配
国粹民族主義
伝統的社会観

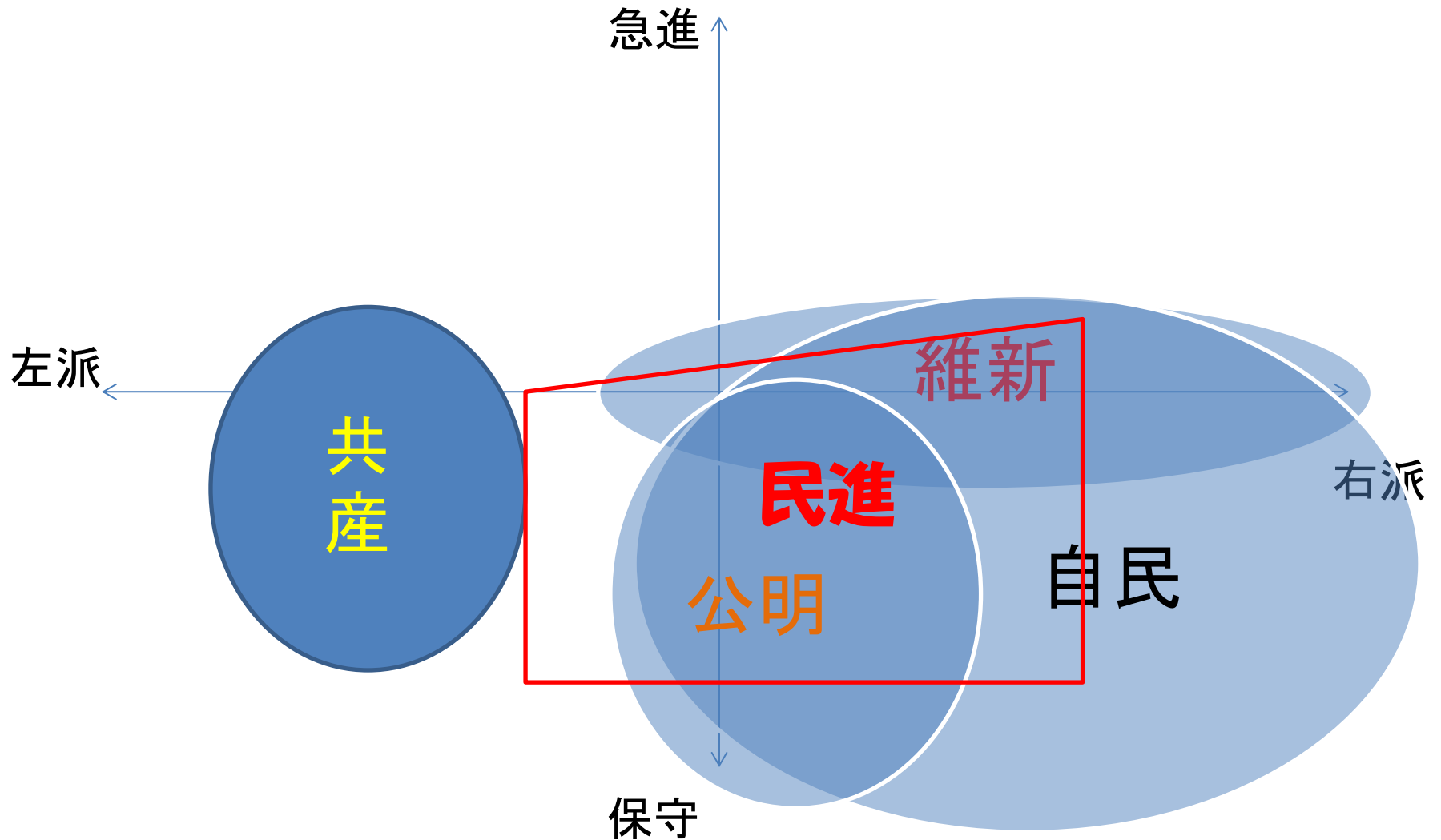
日本政治:政党分布図

- 自民党が第四象限、右志向で保守は明らか
- 公明はより福祉などのテーマに寄るが、ほとんど自民の範囲に埋没する
- 維新は組成上、第一象限すなわち新自由主義的・ビジネス寄りの議員もいるが、基本的には自民の周辺に広がる
- 共産は本来は第二象限で、ちょうど自民党の対局に位置すべきであるが、次第に保守的な性格を強める。ラディカルな社会変革を目指さず、地域的で保守的な存在に変容している。リベラル派を失った民主党の代替的な役割も演じ、市民層に支持を拡大している。

政治勢力のベクトル版図3



民進結党後の日本の政治勢力版図の成立



民進党の位置

- 本来、旧民主党はリベラル・中道勢力の結集をめざし、多様なテーマをカバーしていた
- 2012年末の衆院選大敗北以来、リベラル勢力は落選や維新への流出などにより、極端に中道勢力が衰退した
- 現在は保守的傾向を強めつつも、内部は大きく二つの勢力に二分されている
- 民主党の保守化と民進党結成によって、日本政治は総保守体制となっている

民進党の内部勢力

官公労組

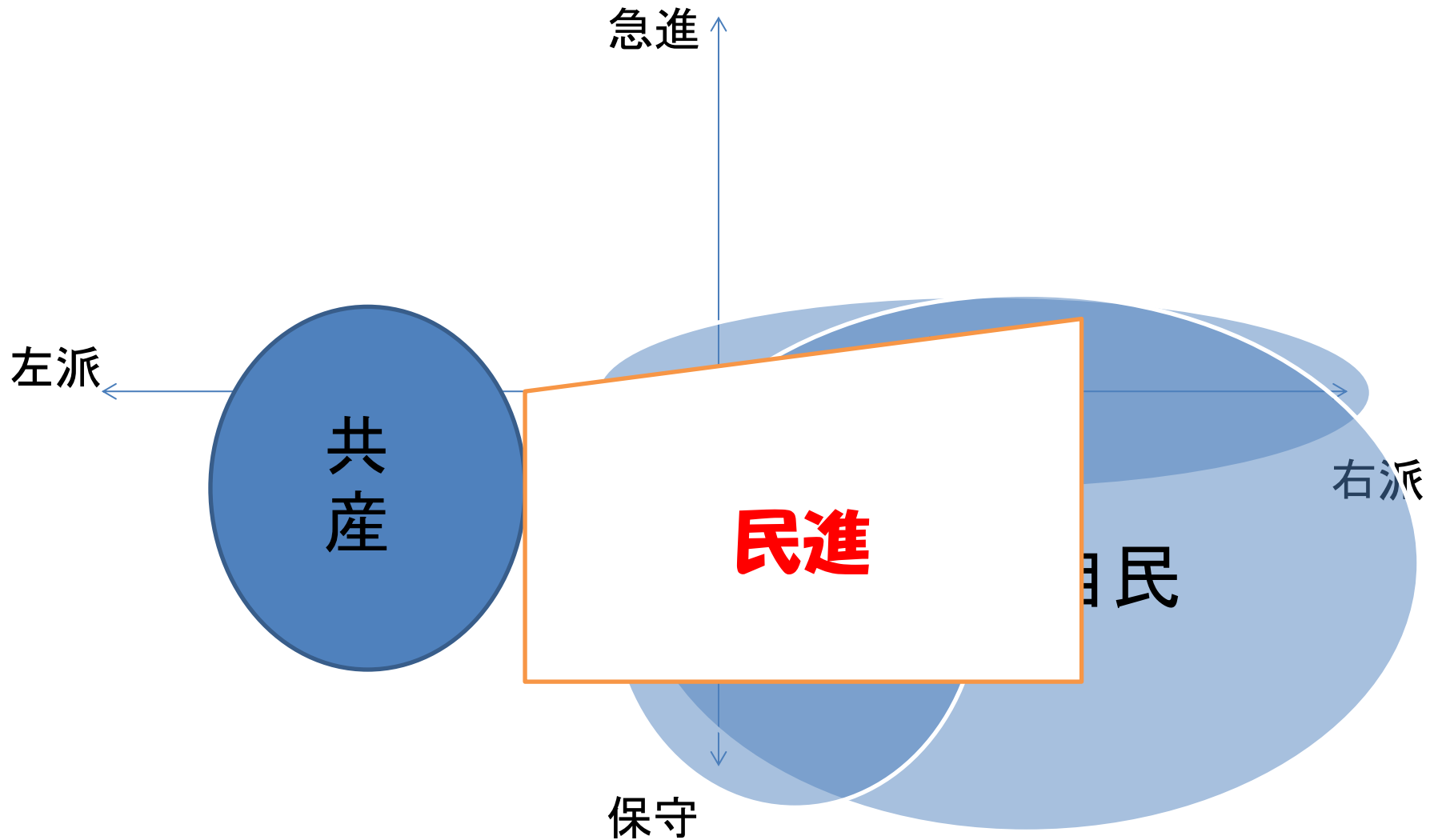
新自由主義
旧革新官僚
旧日本新党系

民間労組

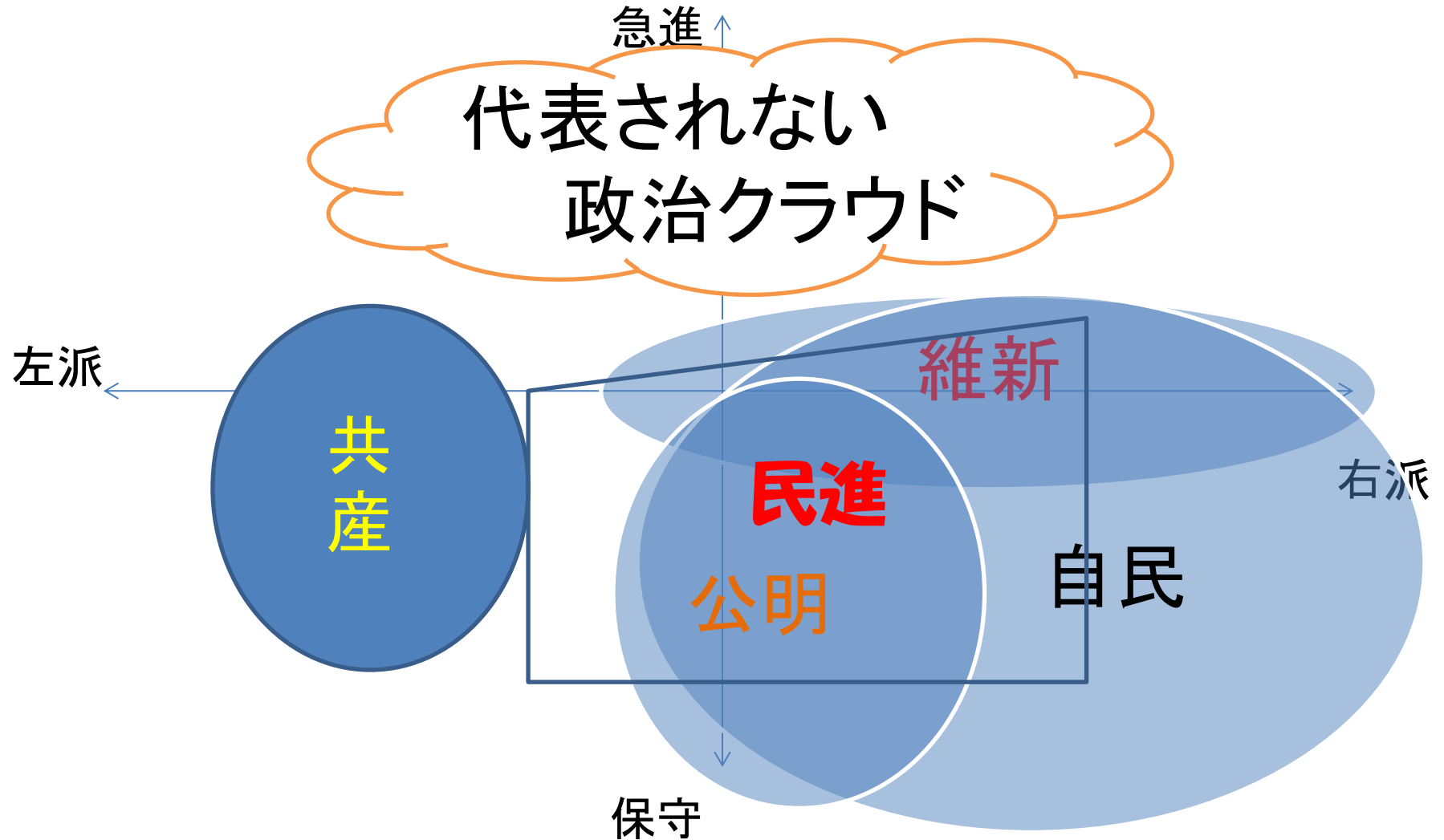
松下政経塾系

親自民党

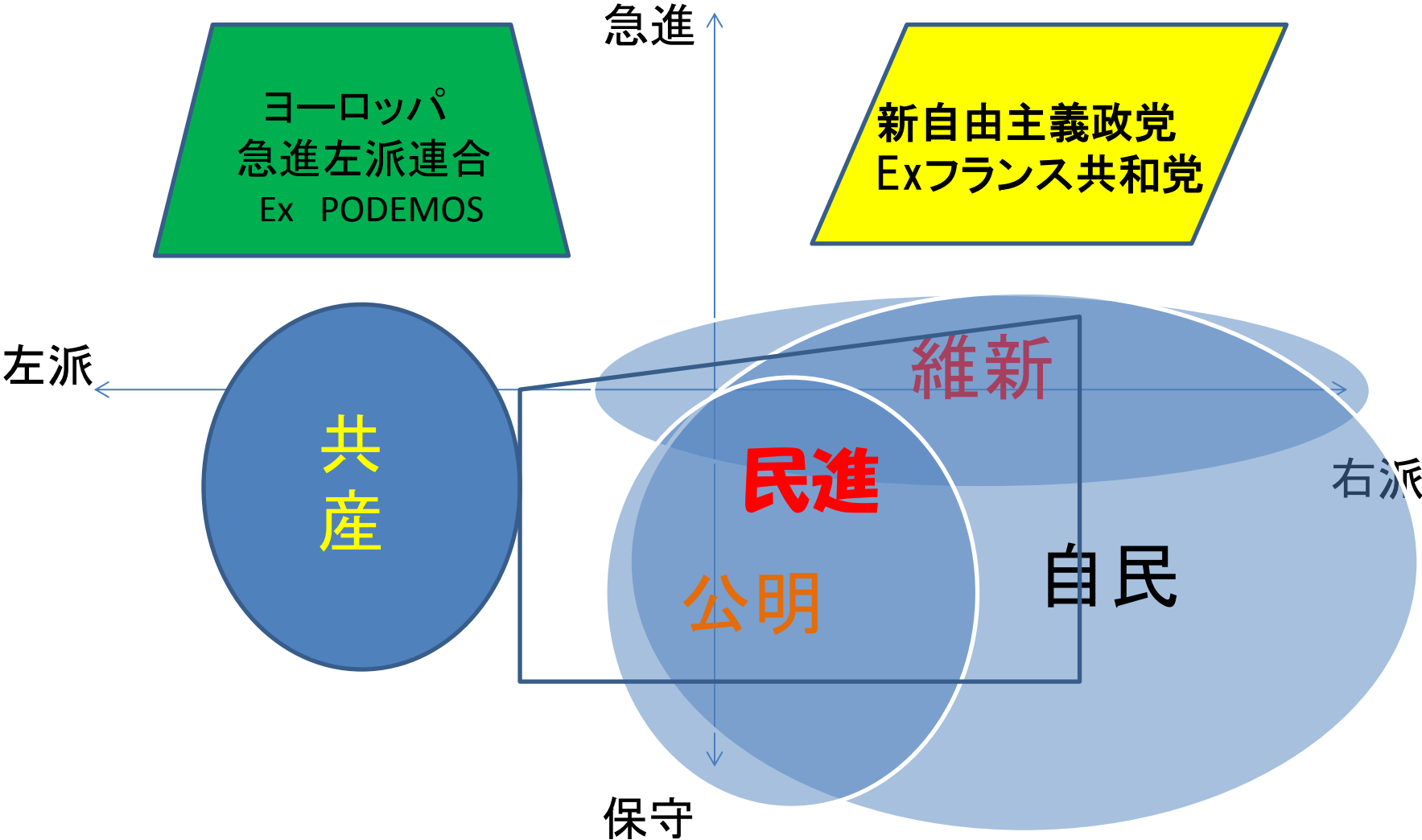
現在の政治勢力のベクトル版図



日本の政治勢力の空白



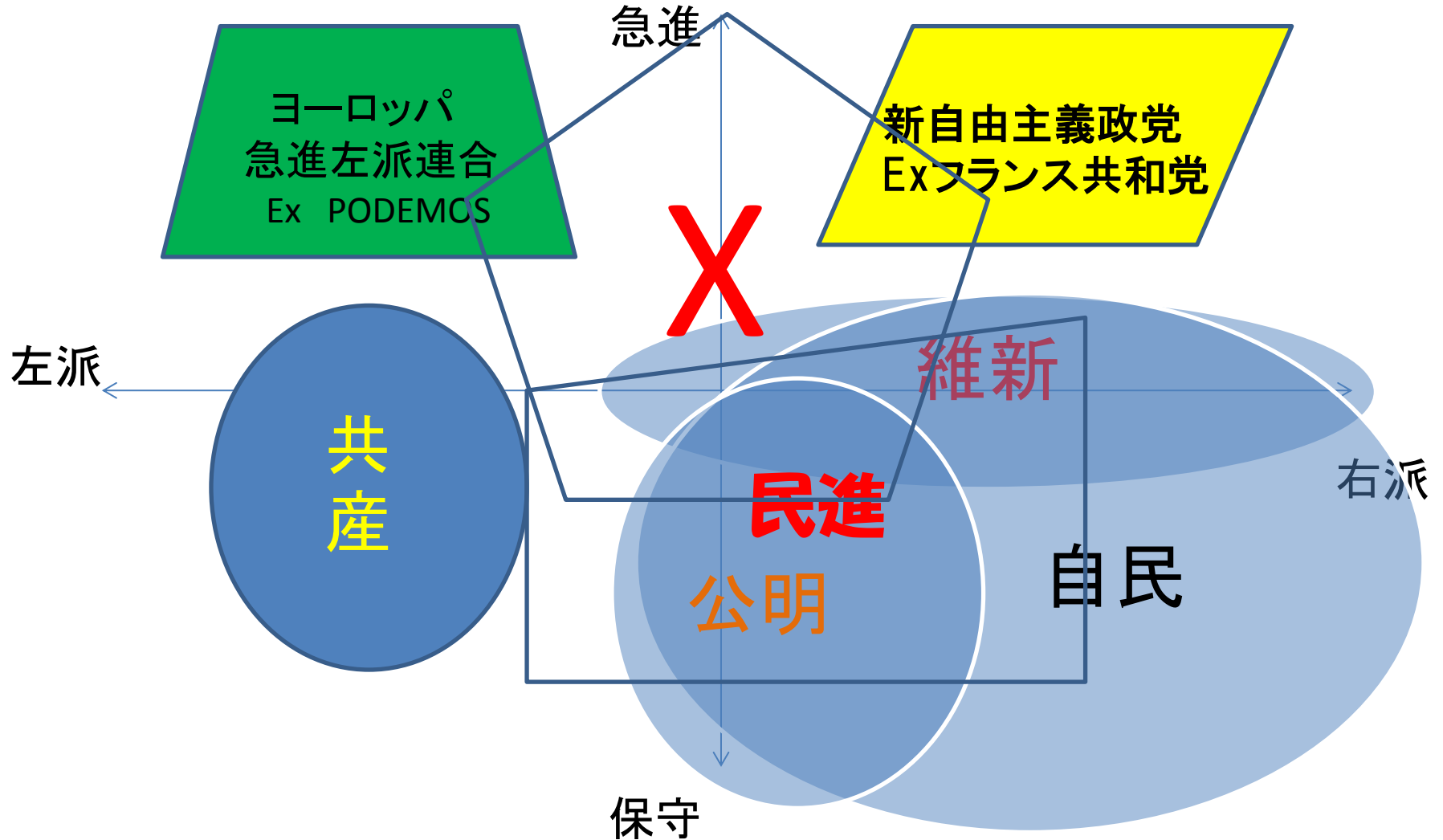
ヨーロッパでの新政治勢力の台頭



巨大なポテンシャルを秘めた 政治ニッチ(niche)

- 日本政治はすべて保守化し、革新・左派のドメインに「代表されない政治クラウド」が存在
- ヨーロッパでは、各地で新自由主義的傾向に反発し、左翼・リベラル・民族主義の政党が登場、急速に成長・拡大
 - その典型がスペインの “PODEMOS”
- 急進的左翼勢力拡大・急進左派連合
- 中間に巨大なポテンシャルを秘めた「政治ニッチ」の出現
- X=中道・革新・急進路線のfeasibility

新政治勢力の可能性



消えた1700万票を探せ！



日本の命運がかかる1700万の衆志

- 2009年から2014年の5年間で消滅
- 1700万票は自民党総得票に匹敵
- 投票率50%を切れば...

代表制民主主義は存立しない

- 1700万人の退出は日本政治の崩壊
- リベラル層、中流層、良識層の退出
- 結果的に浮かび上がる

因習勢力(日本会議)、極右勢力、
利権勢力